

新春をお喜び申し上げます。今年も、多くの課題に挑戦です。

湧き出ずる若穂の力

住民自治協議会会長 綿内 剛美

新年あけましておめでとうございます。昨年中のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

私は昨年、若穂で行われた様々なイベントに参画させていただき、「若穂の力」というものを強く実感することができました。それも「沸々と際限なく湧き出ずる若穂の力」です。特に、とびっくランや綿内小140周年記念行事で示された、40から50歳台前半を中心とした方々の行動力・企画力・創造力そして奉仕の心、これらには本当に目を見張るものがあり頼もしさを感じました。

また、小・中学生の皆さんが多くの活動に仲間入りし、その豊かな発信力を持って場を盛り上げ、住民の融和を図ってくれている姿には、未来の若穂の担い手として大変心強く思いました。これらは次世代・次々世代への礎として必ずや受け継がれていくもの確信します。

今年の大きな課題に、「保科温泉線バス存続対策」「若穂まちづくり計画策定」「組織と活動の見直し」があります。前二つに対しては昨年末、検討機関として



「保科温泉線バス対策プロジェクトチーム」と綿内・川田・保科地区それぞれに「地区未来会議」を立ち上げました。両者ともに大変難しい課題ではありますが、若穂にとって最良の方向を見出していかなければと決意しています。

また現在、自治協の仕事量が大変増え、人的にも財政的にも大変苦しい状況になっています。若穂の資する自治協として、今後も充分な活動ができるよう見直しを進めてまいります。

本年も皆さんの知恵と行動で「湧き出ずる若穂の力」を結集し、前進していけるようご協力をよろしくお願い致します。(写真は昨年の第3回とびっくラン)

若穂のまちづくり、「住民自治」は皆さんの参加が決め手です。一緒に・・・

若穂地区住民自治協議会理事会一同・事務局職員一同



保科温泉線バス

27年度は減便？で赤字対応〈市〉事前協議の上、2月9日の公共交通会議で決定したい。



1 2月15日に市の公共交通政策課が保科温泉線の利用状況や、今後の検討スケジュールについて自治協側に説明しました。概要は

- ◆ 1 2月22日に長電バスが27年度の運行見直し案をまとめる
- ◆ 2月9日の地域公共交通会議で最終決定したい
- ◆ 事前に若穂と協議する

一ですが、赤字縮小のため減便される可能性があります。28年度以

降については未定とされていますが、8月頃には検討の山場を迎えるものと思われます。夜には保科温泉線バス対策プロジェクト(座長:坂口義行保科区長会長)が開催され、市の説明について報告されました。

保科温泉線バスの利用状況は？ 市・交通政策課がデータ提示

① 保科温泉⇒千石入口／10月の平日5日間平均（26年10月6日～10日）【くるるデータ】

始発時刻	全 体	(若穂地区)
6:45	26.4 人	24.2 人
7:25	10.4	7.2
8:17	13.2	9.2
9:25	10.2	6.6
10:20	4.8	2.8
11:20	9.4	6.4
14:00	8.6	6.4
15:30	13.0	7.2
17:25	5.6	1.6
小 計	101.6	71.8
便平均	11.3	8.0

「えっ、増えていない」？！

◇保科温泉線「廃止」が新聞報道されたのは昨年5月末。自治協は存続に向けて利用促進を呼び掛けてきましたが、データ②の月別推移で見る限り成果は見えてきません。

◇データはICカードの「くるる」利用者だけで、時々利用される「現金払い」はデータに表れてこないのです。

◇今後、28年度以降を検討する上では、「くるる」のデータがもとになると考えられますので、皆さん、「くるる」を購入してバスに乗りましょう！

◇「くるる」は最初2千円(500円は預り金)で、その後の補充は千円単位。バスの運転手さんに言えば購入も補充も簡単にできます。(70歳以上の方で「おでかけパスポート」を取得するには別途、手続きが必要です。支所にお問い合わせを)

② 保科温泉⇒千石入口／月別推移 【くるるデータ】

月	全 体	(若穂地区)	(若穂地区・便平均)
4	2,718 人	2,029 人	8.0 人
5	2,780	2,122	8.1
6	2,668	1,987	7.9
7	2,747	2,053	7.8
8	2,322	1,714	6.6
9	2,608	1,910	7.5
10	2,755	2,047	7.8

* (若穂地区・便平均)は自治協で推定した参考値です

* いずれの人数も、途中の乗降者を含みます

保科温泉と地域がタッグ！！ 《新春将棋交流大会》を保科振興開発委員会が共催
ただ今 参加者募集中！ お申し込み・お問い合わせは保科温泉まで ☎ 282-3050

- とき 2月11日(水・祝) 受付9:00～9:30
- 場所 保科温泉2階 (洋室・和室)
- 会費 一般の部 A (有段者) 1,000円
B (級位者) 1,000円
ジュニアの部 (小学生) 500円

- 定員 各部24名 (先着順・定員で締切)
- 賞 上位3名まで日本将棋連盟賞状及び賞品
進呈・参加賞保科温泉入浴券
- 主催 指定管理者(株)オーエンス
- 共催 保科振興開発委員会
- 後援 日本将棋連盟県支部連合会・自治協他

* 昼食・入浴料込み、小学生付き添い父兄入浴無料

昨年は県内で土砂崩れ、噴火、地震と大きな災害が発生し、あらためて自然の脅威を知らされた。中でも、11月22日の夜10時過ぎに発生したM6.7の「長野県神城断層地震」。震源地の白馬村、小谷村では多くの家屋が倒壊し、下敷きになった人もいたが幸い死者はゼロ。隣近所が力を合わせて救助にあたっている。とっさの場合、まず頼れるのは隣近所や区を単位とした「地域力」。身の回りで起こりうる災害と対応を想定して考える必要がある。災害は忘れたころにやってくる。

【お知らせ】 1月の理事会は 1月15日(木)午後3時～・若穂支所 で開催する予定です。